※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	学基礎古典	単位数	１単位	年次	２年前期
使用教科書	枕草子による文法の演習〈助動詞編〉						
副教材等	新精選古典文法　＜三訂版＞（東京書籍）他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次後期に履修した「言語文化」で学習した古文・漢文の内容をさらに深める科目です。
・問題集や「言語文化」の教科書・副教材を使って授業を進めていきます。
・１単位の授業なので予習が大切になります。与えられた課題は必ず仕上げて授業に臨むようにしなさい。また復習もしっかりとおこなって、学習内容の定着を図ること。
・語彙力を高めるために、意味がわからない言葉と出会ったときは、辞書を引いて調べることを心がけましょう。
・提出物の期限は守りましょう。
・小テストや定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を押さえる。 ・古典文法の復習（用言） ［教材］ 今物語 宇治拾遺物語 古本説話集を題材とした練習問題	(a)本文に用いられている語句の意味や用法について、辞書や参考文献を積極的に参照しながら理解している (b)［読］説話という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 (c)本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	問題演習 文法演習 定期考査	問題演習 定期考査	問題演習
	・物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉える。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・古典文法の復習（助動詞） ［教材］ 伊勢物語 大和物語等 を題材とした練習問題	(a)歌物語を読むことを通して、和歌の伝統など我が国の文化の特質について理解を深め、その知識を活用している。 (b)［読］作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について正確に捉えたうえで的確に評価している。 (c)本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	問題演習 文法演習 定期考査	問題演習 定期考査	問題演習
	・物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉える。 ・敬語表現の基本について理解する。 ・古典文法の学習（助動詞・敬語） ［教材］ 平中物語 源氏物語等 を題材とした練習問題	(a)助動詞や敬語、和歌の修辞など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 (b)［読］物語の構成についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 (c)本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	問題演習 文法演習 定期考査	問題演習 定期考査	問題演習
	・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・観念性・抽象性の高い文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古典文法の学習（助動詞） ［教材］ 徒然草 枕草子 方丈記を題材とした練習問題	(a)先人のものの見方、感じ方、考え方について、現代との違いや現代における影響などを考えながら親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 (b)［読］随筆という文章の種類についてよく理解し、その特徴を踏まえるとともに、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 (c)本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	問題演習 文法演習 定期考査	問題演習 定期考査	問題演習

※令和４年度以降入学生用

	・日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・古典文法の学習（助動詞・敬語） ［教材］ 土佐日記 更科日記を題材とした練習問題	(a)古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができている。 (b)［読］作者の人物像や本文の特徴など多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめている。 (c)本文内容の正しい理解や周囲の意見、参考資料などを踏まえて、登場人物の心情や作者の意図を多角的に考え、自分の考えをわかりやすくまとめたり周囲と意見を交換したりしようとしている。	問題演習 定期考査	問題演習 定期考査	問題演習
	言動の記録をたどり、人物像を捉える。 ［教材］ 史記 鴻門之会	(a) 「史記」に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 (b) ［読］「史記」という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 (c)学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間